

## 潜水死亡例の原因

原因	男性		女性		合計	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
潜水の途中で一人になった	36	(35.3%)	15	(50.0%)	51	(38.6%)
一人で潜水を開始した	39	(38.2%)	2	(6.7%)	41	(31.1%)
レギュレーターから空気が来ない	20	(19.6%)	1	(3.3%)	21	(15.9%)
流れ	12	(11.8%)	6	(20.0%)	18	(13.6%)
パニック	10	(9.8%)	2	(6.7%)	12	(9.1%)
器材の不調	10	(9.8%)	2	(6.7%)	12	(9.1%)
原因がまったくわからない	7	(5.9%)	3	(10.0%)	10	(7.6%)
アルコール	6	(2.9%)	0		6	(4.5%)
波	3	(2.9%)	1	(3.3%)	4	(3.0%)
減圧障害	2	(2.0%)	1	(3.3%)	3	(2.3%)
気管支喘息	2	(2.0%)	0		2	(1.5%)
脳出血	2	(2.0%)	0		2	(1.5%)
窒素酔い	1	(1.0%)	1	(3.3%)	2	(1.5%)
ボートとの接触	0		2	(6.7%)	2	(1.5%)
心筋梗塞	1	(1.0%)	0		1	(0.8%)
肺の圧外傷	1	(1.0%)	0		1	(0.8%)

●全死亡例132名に対する割合

## 潜水死亡の原因は何か？

潜水で死亡した日本人ダイバー132名の原因です。(潜水中の死亡は広い意味ではすべて溺死(水死)なので、溺死という分類は使っていません)。ここで最も重要なのは、志望した約40%のダイバーが、最初はバディといっしょに潜水していたのに、途中でそれを解消、またははぐれてその後死亡したということです。それから、約70%(原因の第1位と2位の合計)のダイバーが、水中でひとりのときに死んでいるということです。単独潜水はいけないのは常識ですが、死亡者の大多数はひとりのときに死んでいるので、もしひとりで潜っていなかったら、器材のトラブルも発作的な病気も、バディに助けてもらえたのかもしてません。